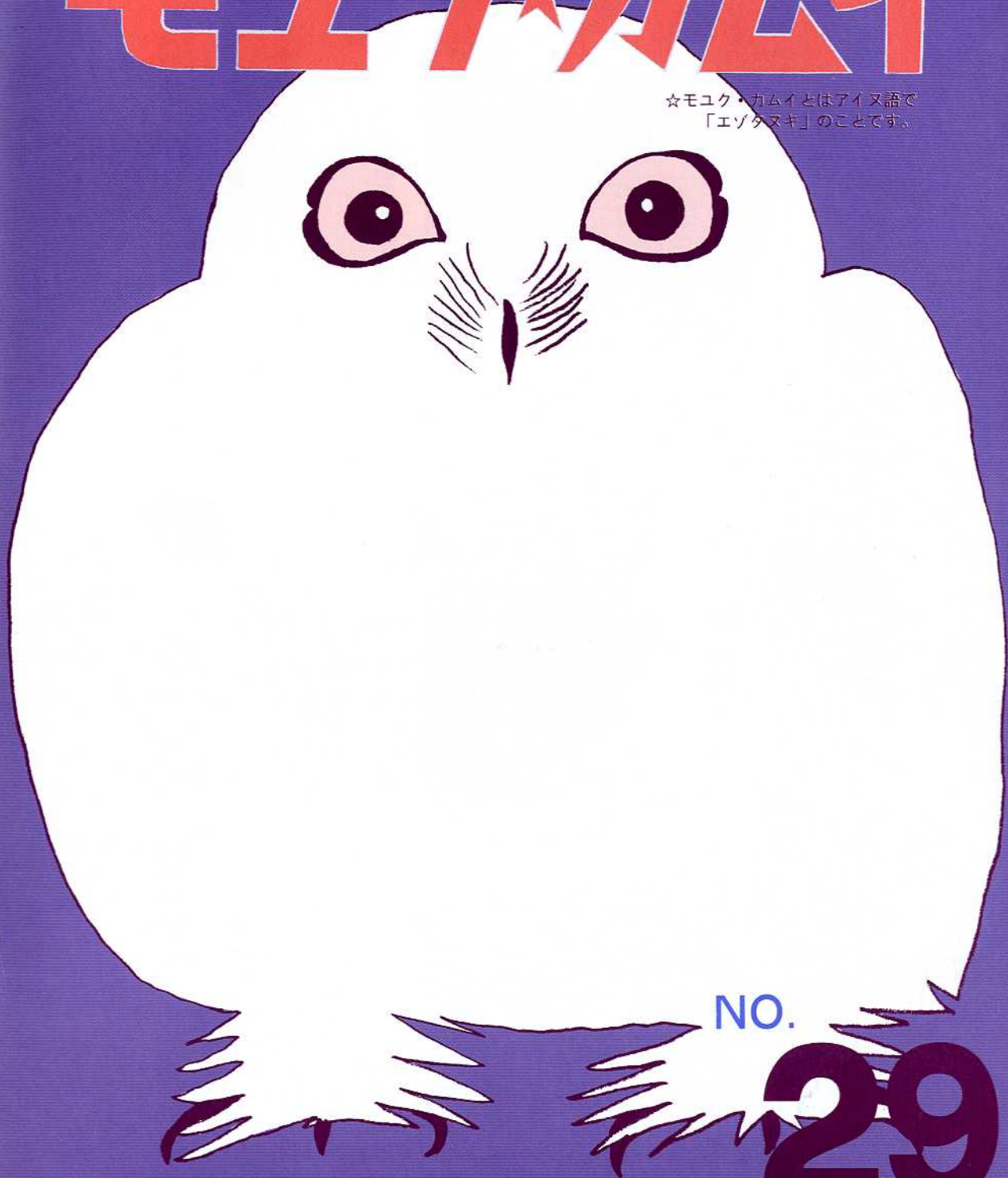




あさひやまどうぶつえんニュース
ASAHIYAMA ZOO NEWS

モユク★カムイ

☆モユク・カムイとはアイヌ語で
「エゾタヌキ」のことです。



NO.

29

シロフクロウ
Nyctale scandiaca

JULY 1992



表紙のこぼれ

暑いさなか、シロフクロウのヒナがかえった。
 おとうさんは、かいがいしく、おかあさんと
 ヒナにエサを運ぶ。なん度もなんども。
 いつか自分より大きくなって、
 大きな顔をされる日がくるのを
 知ってか知らずか、今日もエサを運ぶ。
 その姿、美しく、哀しい。

巻もくじ

- 2 ほっと ひとPhot -
- 3 新・動物解析考 小倉百人一首の夏
- 4.5 シリーズ「動物ってなんだろう？」
 第5回「リス・ネズミ・ウサギの仲間」
 その2 テンジクネズミ垂目
- 6.7 昆虫標本を作ろう
- 8 最近の動物園事情
 Vet News (動物病院から)
- 9 飼育研究レポート
 - ジェフロイクモザルがきた -
- 10 ゲンちゃんの追求コーナー
 - 動物の年齢 -
 クイズ
- 11 飼育日誌・お知らせ



新・どうぶつ解析考

百人一首

夏の句はこれ

ほととぎす 鳴きつる方を ながむれば
 ただ有明の 月ぞ残れる

後徳大寺左大臣

ホトトギス科の主な鳥には、
 ホトトギス、カッコウ、ツツドリ、ジュウイチといるが、種名はいずれも鳴き声に由来している。

ホトトギス……テッペンカケタカ、トッキョキョカキョク、ホトトギ・ホトトギ
 種名の最後のスは鳥を表わす接尾語だそうだ。

カッコウ……カッコウ・カッカッコウ

ツツドリ……ポボ・ポボ 空筒を叩くような音

ジュウイチ……ジュウイチー・ジュウイチー・ジュク・ジュク・ジュク

これらの鳥たちは、古くから人々に愛されていたらしくいろいろな漢字をあてられている。

ホトトギス……杜鵑、不如帰、時鳥、子規、杜宇、霍公鳥、蜀魂、杏手鳥

カッコウ……郭公、閑古鳥、呼子鳥

ツツドリ……筒鳥

ジュウイチ……慈悲心鳥

漢字の外にもホトトギスには、あやなしどり、たまむかえどり等多くの呼び名がある。ホトトギスが古来から歌人に最も愛された鳥であることの証拠だろう。

この句は、千載集・夏の部に「暁に郭公を聞く」としてでてい

かわいそうに郭公をほととぎすと誤って読んでいることも多いという。

北海道では何といってもカッコウだ。

春、カッコウの初鳴きを記録し、カッコウ前線も発表されている。

旭川の山にはツツドリも多い。

第5回 「リス・ネズミ・ウサギの仲間」

大きなネズミの仲間、ヤマアラシとカピバラのお話です。
どちらも旭山動物園の人気者です。



その2 テンジクネズミ亜目 ヤマアラシ・カピバラ

哺乳類全種のうち40%近くがネズミの仲間（げっ歯目）の動物たちです。

ネズミの仲間は地球上のほとんどあらゆる生活環境にすんでおり、生活力も旺盛な動物です。げっ歯目は大きく3つの亜目（リス亜目・ネズミ亜目・テンジクネズミ亜目）に分けられ、30科390属1,700種以上に分類されています。

今回はテンジクネズミ亜目のうち、特にヤマアラシとカピバラについて解説します。

● テンジクネズミ亜目（16科187種）

この仲間は南アメリカ大陸のげっ歯類の大きなグループで、大きな体格に、大きな頭、丸い体、細いあし、短い尾、という共通した特徴をもっています。

16科のうち11科が中南米に分布し、アジア・アフリカにはヤマアラシ科のものが分布しています。

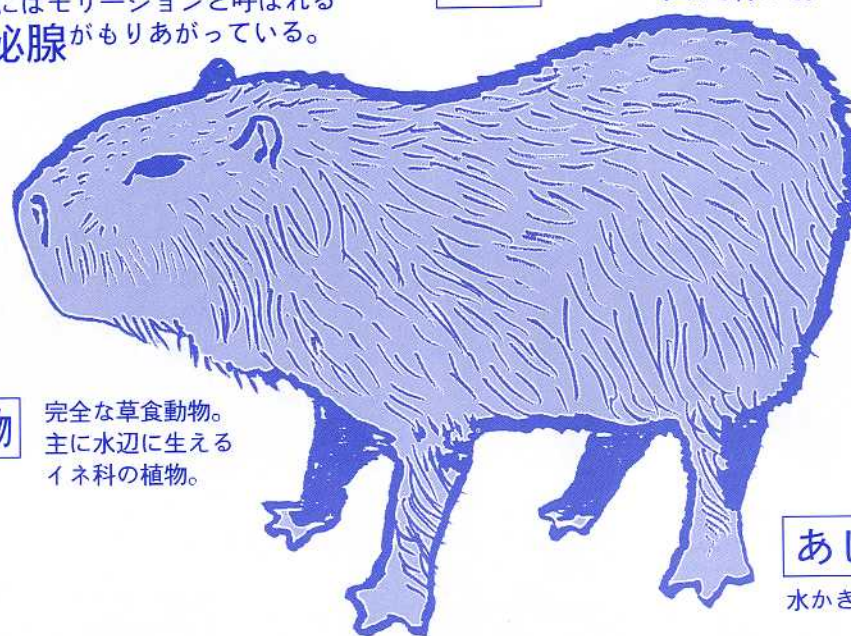
顔

水の中では、目・鼻・耳だけを水面に出し、身をかくす。カバに似た顔をしている。

オスにはモリージョンと呼ばれる**分泌腺**がもりあがっている。

体重

おとなのオスで約55kg。
メスで約60kg。



食べ物

完全な草食動物。
主に水辺に生えるイネ科の植物。

糞

水中ですることが多い。

あし

水かきがついている。

カピバラ

Hydrochoerus hydrochaeris

アフリカタテガミヤマアラシ

Hystrix cristata

毛

身を守るために体の毛が針になった。

この針は長さが10cmから長いものでは50cm程にもなり、先端は非常に鋭く、プラスチックで出来ているようなとても堅いもので、敵に向かって発射することはできないが、何かに触れただけで簡単に抜け落ちる。

尾

しっぽはおこるとガラガラと音を出す。

後あし

おこったとき後あしを踏み鳴らす。



歯

一生伸び続ける門歯（前歯）。

食べ物

植物食で、草の根や球根、果実などを食べる。

前あし

前あしを使い食べ物を地面に押しえつける。

- 妊娠期間 112日（約4ヶ月）
- 1回に生まれる数 1～3頭
- 体重 300～400g
- 体長 20cm
- 2週間ぐらいで親と同じ物を食べ始める

ヤマアラシの赤ちゃんには針はあるの?!

生まれたばかりの赤ちゃんは、目がぼちぼちあき、体の毛もはえそろう、とても発達した状態で生まれてきます。

背中の針も生えていますが、まだ針は柔らかくフニャフニャです。でもその針もしばらくすると、堅くしっかりしたものになります。

10年以上も前の話ですが、旭山動物園でもヤマアラシの赤ちゃんが生まれたことがあります。

その日、飼育係のMさんがヤマアラシの部屋に行くと、奥の方に変なぼろきれがありました。

「だれだ！こんなところにゴミ屑を入れたのは……」と、つまんで捨てようとしたところ、な、なんとヤマアラシの赤ちゃんではありませんか！

体は柔らかい針でおおわれ、手のひらにのるほどの可愛い赤ちゃんでした。

Mさんは急にニコニコ顔になりました。

カピバラは水辺の動物です

カピバラは川や沼の水辺を中心にして生活しています。

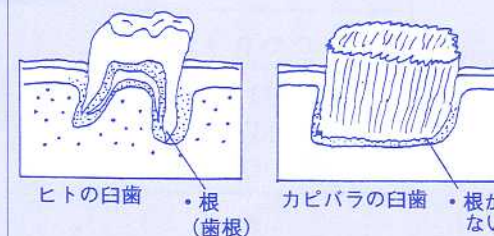
性質はとてもおどろいり、おどろいたり、敵がきたりすると、すぐ水の中へ逃げこみます。陸の上ではのんびりとして鈍い感じさえますが、水の中ではとても身軽に動き、泳ぎは非常にじょうずです。

目と鼻と耳だけを水の上に出して、まわりに注意をはらいながら泳ぎます。潜ることもします。

足の指の間には「みずかき」がついています。

おく歯ものびつづけます

ネズミの仲間の歯は普通、前歯（門歯）だけが一生のびつづけます。ところが、カピバラはおく歯（臼歯）も一生のびつづけます。この様に一生のびつづける歯は根がないので無根歯（常生歯）とよばれます。



ヒトの臼歯

根（歯根）

カピバラの臼歯

根がない

分類	生息地域
テンジクネズミ亜目	
・キノボリヤマアラシ科	
・テンジクネズミ科	中
・カピバラ科	
・カプロミス科	
・バカラナ科	南
・バカ科	
・チンチラ科	
・オクトドン科	米
・クテナミス科	
・チンチラネズミ科	
・アメリカトゲネズミ科	
・エキミス科	アア
・イワネズミ科	ジフ
・ヤマアラシ科	アリ
・デバネズミ科	・カ
・グンディ科	

